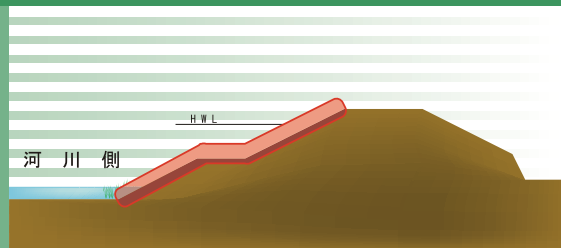


プレキャストコンクリート 法張護岸工法



プレキャストコンクリート法張護岸は、護岸工事の標準タイプとして広く施工されています。
この護岸は、基礎工、縦・横格子枠、すべり止め及び保護工などと組み合わせ、間詰コンクリートを施工して完成します。

従来、本工法は現場打設にて施工していましたが、この工法は細かい作業が多く、施工を法面でおこなうため、著しく施工性が悪く、長い工期を必要としました。

このような状態を解消するため、当社では、現場で施工する部材の縦枠、横枠、すべり止め、間詰ブロック保護工を工場製品化（プレキャスト化）し、その部材をクレーンで据え付けた後、間詰コンクリートを打設する工法を開発し、技術活用パイロット事業などの実施により、その機能性、施工法、経済性から広く普及し、数多くの実績を重ねた信頼性の高い護岸製品です。

本工法の特長

1. 製品は、トラッククレーンで据付けることができ、機械化施工が可能です。
2. 施工の手間が省けますので労働力不足の軽減が図れます。
3. 施工の合理化・省力化によって工期の短縮、施工の効率化、工事費の節約が図れます。
4. 部材の寸法は、施工現場の状況に応じて注文ができます。



護岸法覆構造

